

第6章 環境影響評価の予測及び評価

第6章 環境影響評価の予測及び評価

本章では、選定した環境影響評価項目について、調査、予測及び評価を行い、その結果を以下に記載しました。各項目の調査のうち、「既存資料調査」は既存文献等の資料収集及び整理による調査、「現地調査」は対象事業実施区域内及び周辺において実施した調査を指しています。

なお、現地調査を実施することが一般的な動物、植物、生態系、水循環、大気質、水質・底質、騒音、振動、地域社会、景観、触れ合い活動の場といった項目については、土地区画整理事業において実施された現地調査の結果を引用し、現況把握に活用しました。土地区画整理事業において実施された現地調査の結果は「旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業環境影響評価書」（横浜市 令和4年3月）（以下、「既存資料（区画整理）」とする）に整理されていますので、本書では本事業と関連する一部を抜粋して引用しました。

表 6.1 土地区画整理事業の現地調査結果を活用している項目
及び公園事業において現地調査を実施する項目

環境影響評価項目	現地調査	土地区画整理事業の現地調査結果を活用している項目	公園事業において現地調査を実施する項目
温室効果ガス	-	-	-
生物多様性	○	○	-
水循環（湧水の流量）	○	○	○
廃棄物・建設発生土	-	-	-
大気質	○	○	-
水質・底質 （公共用水域の水質）	○	○	-
騒音	○	○	-
振動	○	○	-
地域社会 （交通混雑、歩行者の安全）	○	○	-
景観	○	○	○ （近景の調査を実施）
触れ合い活動の場	○	○	-

注1：土地区画整理事業において実施された現地調査の結果は、本事業と関連する一部を抜粋して引用しました。